



あなたの大切な人を守る！

八女のあかり 「火袋」

左) 井寺古墳 (国史跡) 6世紀 / 嘉島町
定規とコンパスを使い線刻された「直弧文」
この素晴らしい文様は、1900年パリ万博で
紹介され、日本文化としてデビュー！
大変な評価を得ていた。

中央) チブサン古墳 (国史跡) 6世紀 / 山鹿市
今も乳房さんと呼ばれ、信仰を集めている。
この古墳石室は他にも名作が描かれ、特に
子供を持つ家族にお勧めしたい！

右) 塚坊主古墳 (国史跡) 6世紀 / 玉名市
中心の丸が主賓を表し、その周りに三角でバリア
を築き悪霊や災難から大切な人を守る！
秀逸な造形。



本格注染で染め上げた「手ぬぐい」です。
半分に切って「ハンカチ」としてお使い頂くと
超モダン！

色彩達人が描く、古代と現代イラストレーションの世界

ペドロ山下展

2017年8月17日(木)～9月3日(日) 開館 9:00～17:00 / 月曜日休館

私たちの祖先はアフリカで誕生し、およそ6万年前から旅を始め九州にやって来た。

縄文時代の終わり頃に米作りが伝来、弥生時代には人々が川沿いに定住。

米を中心とする生活を始めた古墳時代になると、鉄の農具が一段と普及し水田は拡大の一途をたどった。

当時の豪族たちは「未来への祈り」として墓室を飾る風習を生みだし、日本独自の芸術文化まで結実させた
ものが「装飾古墳」である。6世紀前期、郷土の豪族「磐井」が敗戦したことで、古代の統一国家

大和政権になるのだが、同盟であった九州の豪族たちは、政権に密かに反旗を表すがごとく「古墳を飾り」
自己権威の表現として九州から東北地方まで古墳を飾る文化を拡散させた。

こんな古代史への取り組みから、現在進行中のグラフィックデザインからまだ若い時代の
イラストレーションの数々までをお楽しみ下さい。 ペドロ 山下

表面イラストは「サンフランシスコの街」NY.AT&T 広報誌表紙1997



●ペドロ 山下 pedro yamashita

1947 福岡県八女市生まれ

1965 - 1970 田中一光氏に師事

1971 - 2006 東京・青山にて山下秀男デザイン事務所主宰

アートディレクター、イラストレーターとして出版や広告、TV-CFなど多数手がける

2006 - 2012 崇城大学芸術学部デザイン学科教授

2012 - ペドロ 山下デザインファクトリー主宰

●代表作として

1995 スロバキア・トリエンナーレ、エコポスター国際グランプリ

1997 ハイネ生誕200年祭、公式ポスター(デュッセルドルフ市、ドイツ)

1998 世界遺産ポスター、ゴールドメダルほか

1994 八女市のブランディング。手透き和紙ポスター15点シリーズなどがあ

八女へ里帰り
特別講演会
< 入場無料 >

●多岐にわたる仕事を紹介します！
8/20日(日) 13:00～14:00

●私は15歳ころ「デザイン」に興味を持った！
8/27日(日) 13:00～14:00

●あなたの絵で缶バッジを一緒に作ろう！
9/3日(日) 13:00～14:00

八女伝統工芸館・特設会場

お問い合わせ / 八女伝統工芸館 福岡県八女市本町2-123-2 tel.0943-22-3131